

9 2 平成11年のサンマ漁場形成

福島県水産試験場海洋漁業部・平成11年度福島県水産試験場事業報告書

- 1 部門名 水産業－海洋生産－サンマ 分類コード 19-01-31000000
2 担当者 水野拓治

3 要 旨

サンマ標本漁船5隻（総トン数166～153トン）の操業状況記録等から漁場形成等を整理した。

(1) 平成11年の全国のサンマ漁獲量（棒受網）は、約135千トンと過去20年間では最低となった。県内の水揚量も1,451トンと近年にない低い数量であった。

(2) 大型船（40トン以上）の漁場は、漁期当初は例年どおり択捉島、色丹島の南海域からスタートしたものの、例年に比べ南下が非常に遅く、主漁場の位置は10月末まで北緯42度以北に分布した。

10月下旬以降の南下も三陸沖暖水塊の影響を受けて、サンマの南下がブロックされる形となり、金華山以南ではスポット的な漁場が散見されるのみで、常磐海域に漁場が形成されずに11月末で終漁した。

(3) 標本船の操業は8月20日～11月28日、1隻平均航海数は27.4（平10年39航海）、1航海日数は3.9日（平10年3.2日）、操業回数／航海は17.5回（平10年15.6回）、1隻平均漁獲量は701トン（平10年907トン）、1航海当たり漁獲量は25.5トン（平10年23.3トン）であった。